

# PGマルチペイメントサービス

プロトコル・タイプ

(JCB PREMO インタフェース仕様)

2022年7月20日 1.00版

- ☑ 本書の著作権は「GMOペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。

# 目次

1.	はじめに	5
1.1.	項目の説明	6
1.2.	開発するにあたっての注意事項	7
1.2.1.	取引について	7
1.2.2.	取引状態の遷移について	8
1.2.3.	当サービスのタイムアウトについて	8
2.	JCBプリカ決済インタフェース仕様	9
2.1.	JCBプリカ決済を実行する	10
2.1.1.	JCBプリカ決済の流れ	10
2.1.2.	各インタフェース仕様詳細	11
2.2.	決済の内容をキャンセルする	14
2.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	14
2.2.2.	各インタフェース仕様詳細	15
2.3.	カード残高を照会する	16
2.3.1.	カード残高を照会する流れ	16
2.3.2.	各インタフェース仕様詳細	17
3.	マルチ決済インタフェース仕様	19
3.1.	決済結果を参照する	19
3.1.1.	取引状態参照の流れ	19
3.1.2.	各インタフェース仕様詳細	20

## 変更履歴

---

---

2022年7月20日 - 1.00版

---

- 新規作成

## 1. はじめに

本書は、お客様が当サービスの開発を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的としています。

本書では、以下のような表記を使用します。

『』：処理状態または処理区分

【】：インターフェース名

## 1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目を説明します。

以下に、各インターフェースの入出力で使用している項目を説明します。

表 1.1-1 入出力項目の定義

No	項目	説明
1	ショップID	弊社が発行する加盟店様を識別するIDです。
2	ショップパスワード	弊社が発行する加盟店様を識別するIDに対するパスワードです。
3	オーダーID	加盟店様が取引を識別するために使用して頂くIDです。 設定可能な文字は「半角英数字と”-(ハイフン)」です。
4	利用金額	税送料を含まない金額です。  決済を行う金額を1円以上で設定します。尚、0円やマイナス金額を設定した場合はエラーとなります。  また、決済手段により決済可能な金額に上限があります。決済手段による上限金額の詳細は、別紙「概要書」を参照ください。
5	税送料	送料等の実際の商品金額とは異なる金額です。  税送料を設定した場合には、決済金額が利用金額と税送料を合わせたものとなります。
7	取引ID	当サービスにて発行する取引を識別するためのユニークなIDです。
8	取引パスワード	当サービスにて発行する取引を識別するIDに対するパスワードです。
9	加盟店自由項目1～3	加盟店様で自由に設定できる項目となります。  設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` {   } ~ & < > " ' ) + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
10	加盟店自由項目返却フラグ	設定された自由項目の値を決済完了時に返却するかを指定するフラグです。  0：返却しない(デフォルト) 1：返却する
48	エラーコード	実行時にエラーが発生した場合、エラーコードを出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。
49	エラー詳細コード	実行時にエラーが発生した場合、エラー詳細を出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。

## 1.2. 開発するにあたっての注意事項

ここでは、プロトコル・タイプで開発するにあたっての注意事項を説明します。

### 1.2.1. 取引について

以下に、取引内容についての注意事項を説明します。

#### 取引の削除

---

---

当サービスは、一度取引を行うと結果にエラーがあった場合でも取引の削除はできませんのでご注意ください。

オーソリを失敗した場合でもオーダーIDの再利用はできませんので、オーダーIDに注文書番号等の変更ができない番号は使用しないでください。使用する必要がある場合は、注文番号+連番のような発番ルールを推奨します。

### 1.2.2. 取引状態の遷移について

以下に、各取引状態の遷移を説明します。

表 1.2.2-1 JCBプリカ決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	支払完了
	失敗	未決済	未決済
取消要求	成功	支払完了	キャンセル
	失敗	支払完了	支払い完了

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する状態、結果、若しくは操作がないことを表しています。

詳細は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

### 1.2.3. 当サービスのタイムアウトについて

当サービスが、外部システムとの通信を行う際に使用するタイムアウトについて説明します。

#### 後続の決済センターと接続する場合

【決済実行】の各処理時に後続の決済センターと通信を行っています。処理の遅延を考慮して、当サービスでは90秒でタイムアウトが発生します。加盟店様では、90秒+ $\alpha$ の値を当サービスとのタイムアウト値として設定してください。余裕をみて120秒程度でタイムアウト値を設定してください。

## 2. JCBプリカ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

## 2.1. JCBプリカ決済を実行する

購入時にお客様がJCBプリカ決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

### 2.1.1. JCBプリカ決済の流れ

以下に、JCBプリカ決済の流れを説明します。

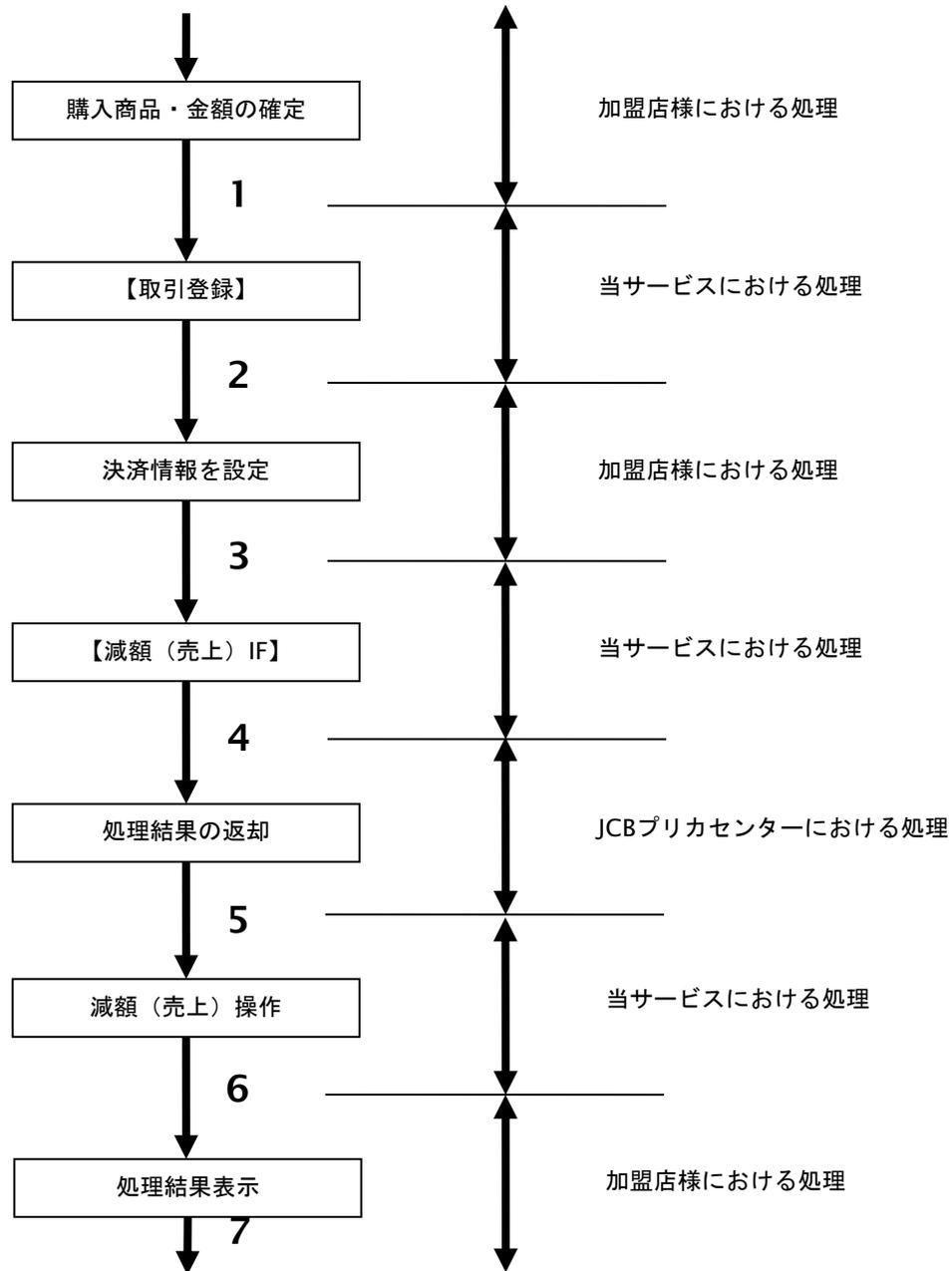


図 2.1.1-1 JCBプリカ決済の流れ

#### 流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、決済情報をもってJCBプリカセンターの【減額（売上）IF】を呼び出します。
5. JCBプリカセンターは、決済結果を当サービスに返します。
6. 当サービスは、決済結果を加盟店様に返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に決済結果を表示します。

## 2.1.2. 各インタフェース仕様詳細

## 2.1.2.1. 取引登録

## 接続先URL

/payment/EntryTranJcbPreca.idPass

## インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引IDと取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

## 入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額	
6	Tax		NUMBER	8	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】  
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

## 出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】  
※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)  
ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01004001

## 2.1.2.2. 決済実行

## 接続先URL

/payment/ExecTranJcbPreca.idPass

## インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

## 入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	CardNo	◎	CHAR	32	カード番号	決済に使用するカード番号を指定します。
8	ApprovalNo	◎	CHAR	16	認証番号	決済に使用するカードの認証番号を指定します。
9	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
10	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
11	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
12	CarryInfo		CHAR	34	持ち回り情報	自由に設定してください。 ※ここに設定した値は取引の実行時にJCBプリカセンターまで送信されます。 ※半角英数時と一部の記号が入力可能です。設定可能な文字については、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

## 出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	OrderID	-	CHAR	27	取引ID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上  実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	NUMBER	5	利用金額	
4	Tax	-	NUMBER	5	税送料	
5	BeforeBalance	-	NUMBER	5	利用前残高	決済に利用したカードの決済実行前の残高
6	AfterBalance	-	NUMBER	5	利用後残高	決済に利用したカードの決済実行後の残高
7	CardActivateStatus	-	CHAR	1	カードアクティベートステータス	決済に利用したカードのアクティベートステータス 0 : 非アクティベート 1 : アクティベート 2 : 初回利用 (当取引でアクティベートされた)
8	CardTermStatus	-	CHAR	1	カード有効期限ステータス	決済に利用したカードの有効期限の状態 0 : 有効期限内 1 : 有効期限切れ 2 : 利用開始前
9	CardInvalidStatus	-	CHAR	1	カード有効ステータス	決済に利用したカードの有効/無効を表す 0 : 有効 1 : 無効
10	CardWebInquiryStatus	-	CHAR	1	カードWEB参照ステータス	決済に利用したカードのWEB参照可否を表す 0 : WEB照会可 1 : WEB照会不可
11	CardValidLimit	-	CHAR	8	カード有効期限	決済に利用したカードの有効期限年月日 (YYYYMMDD形式)
12	CardTypeCode	-	CHAR	4	券種コード	決済に利用したカードのJCBプリカセンターが規定する券種コード
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

## 2.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の各種情報を指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。  
キャンセル可能期間は以下のとおりです。

- ・ JCBプリカセンターにて取引が実行されてから720時間(30日間)以内です。
- ・ キャンセルは、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。

### 2.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れを説明します。

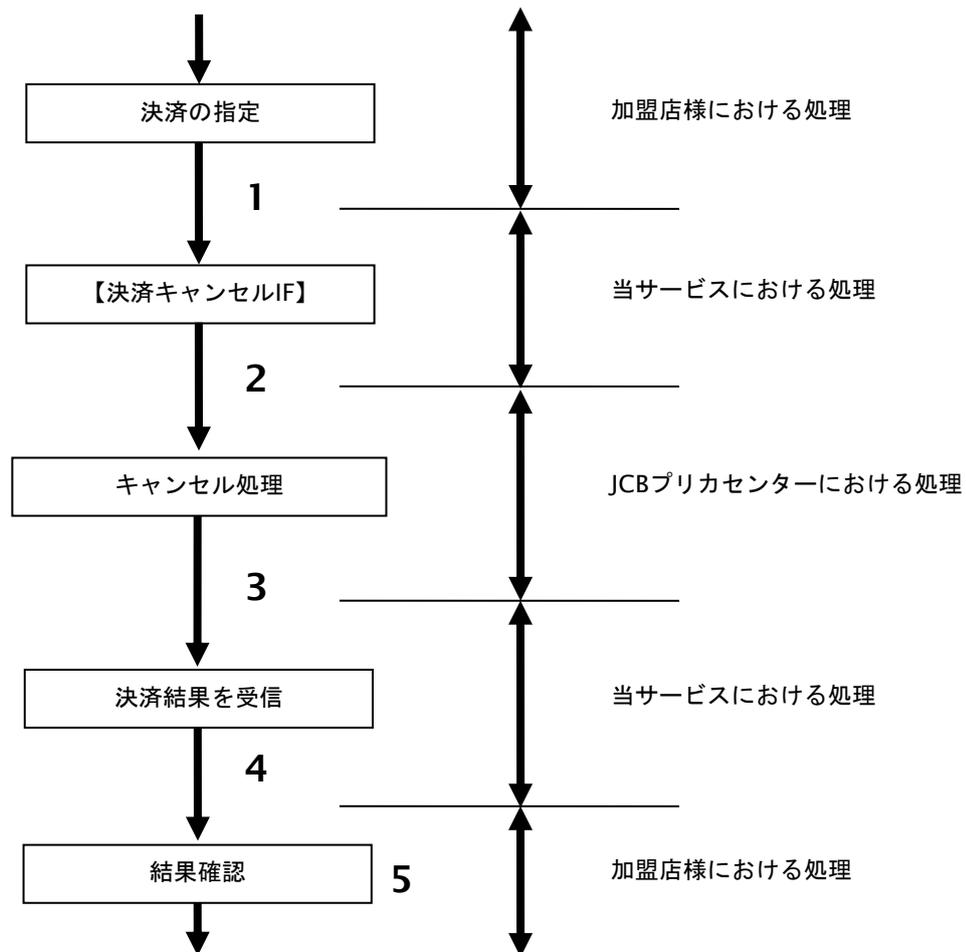


図 2.2.1-1 決済キャンセルの流れ

#### 流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の各種情報を指定し、当サービスの**【決済キャンセル IF】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをJCB プリカセンターに送信します。
3. JCB プリカセンターは、キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル結果を加盟店様に返却します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

## 2.2.2. 各インタフェース仕様詳細

## 2.2.2.1. 決済キャンセル

## 接続先URL

/payment/JcbPrecaCancel.idPass

## インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

## 入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

## 出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&amp;"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：キャンセル  キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&amp;ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

## 2.3. カード残高を照会する

決済に関わりなく指定の各種情報をもとに、カードの残高を照会することができます。

### 2.3.1. カード残高を照会する流れ

以下に、カードの残高を照会する流れを説明します。

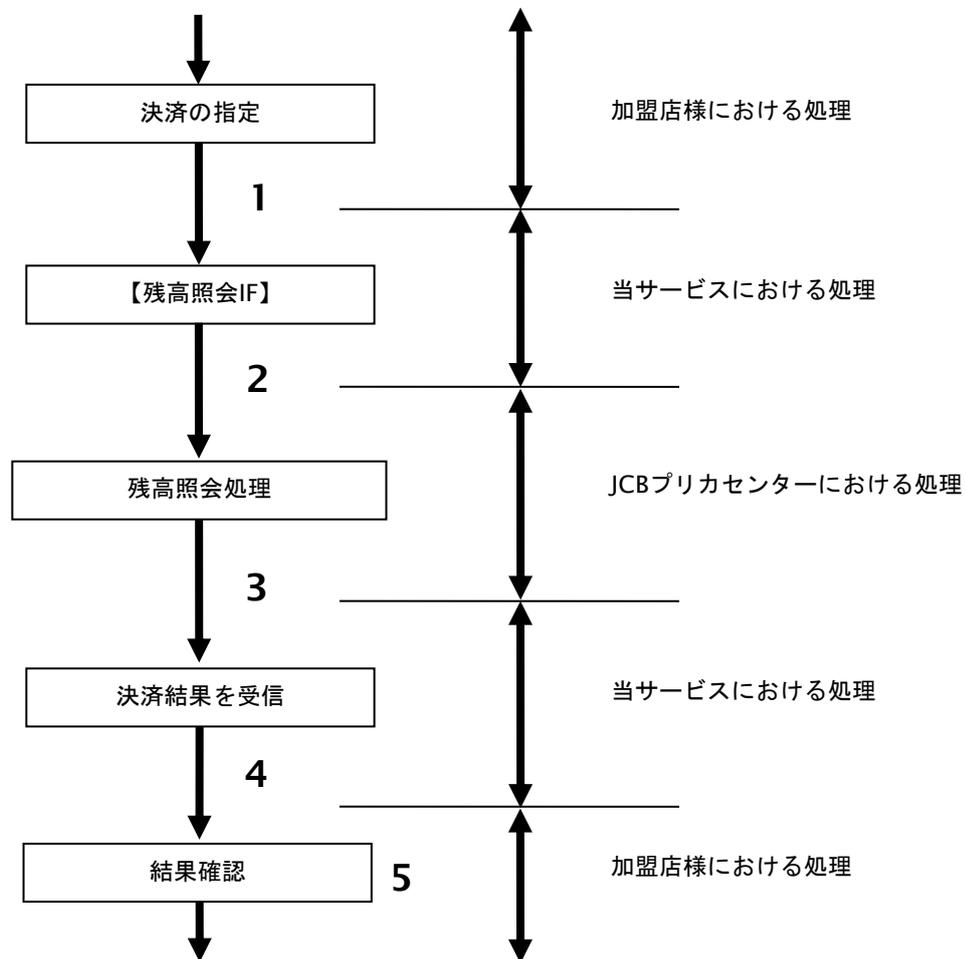


図 2.3.1-1 カードの残高照会の流れ

#### 流れの説明

1. 加盟店様は、残高照会するカードの各種情報を指定し、当サービスの**【残高照会 IF】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたカードの残高照会リクエストをJCB プリカセンターに送信します。
3. JCB プリカセンターは、残高照会結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、残高照会結果を加盟店様に返却します。
5. 加盟店様は、残高照会の結果を確認します。

## 2.3.2. 各インタフェース仕様詳細

## 2.3.2.1. 残高照会

## 接続先URL

/payment/JcbPrecaBalanceInquiry.idPass

## インタフェース概要

カードの残高照会を行います。

## 入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	CardNo	◎	CHAR	32	カード番号	残高照会対象のカード番号
5	ApprovalNo	◎	CHAR	16	認証番号	カード番号に対応する認証番号

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

## 出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardNo	-	CHAR	32	カード番号	入力パラメータに設定したカード番号
2	Balance	-	CHAR	-	残高	カードの現残高
3	CardActivateStatus	-	CHAR	1	カードアクティベートステータス	決済に利用したカードのアクティベートステータス 0: 非アクティベート 1: アクティベート 2: 初回利用(当取引でアクティベートされた)
4	CardTermStatus	-	CHAR	1	カード有効期限ステータス	決済に利用したカードの有効期限の状態 0: 有効期限内 1: 有効期限切れ 2: 利用開始前
5	CardInvalidStatus	-	CHAR	1	カード有効ステータス	決済に利用したカードの有効/無効をあらわす 0: 有効 1: 無効
6	CardWebInquiryStatus	-	CHAR	1	カードWEB参照ステータス	決済に利用したカードのWEB参照可否を表す 0: WEB照会可 1: WEB照会不可
7	CardValidLimit	-	CHAR	8	カード有効期限	決済に利用したカードの有効期限年月日(YYYYMMDD形式)
8	CardTypeCode	-	CHAR	4	券種コード	決済に利用したカードのJCBプリカセンターが規定する券種コード
9	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
10	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

### 3. マルチ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対しての処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しはHTTPS通信にて行う必要があります。

#### 3.1. 決済結果を参照する

オーダーIDを指定すると、該当の決済結果を取得すること(以下、取引状態参照)が可能です。通信障害でタイムアウトが発生した場合等で決済結果が取得できなかった場合は、本インタフェースにて取得してください。

##### 3.1.1. 取引状態参照の流れ

以下に、決済の結果を参照する流れを説明します。

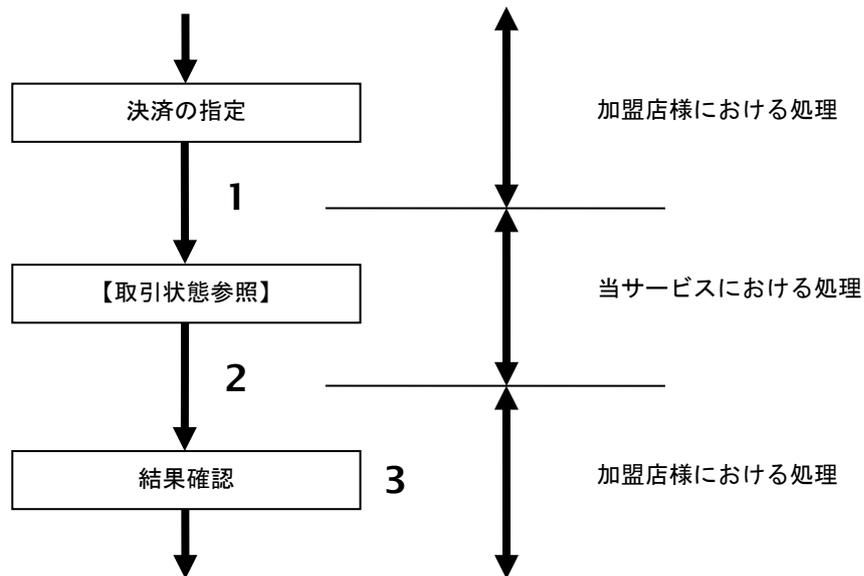


図 3.1.1-1 取引状態参照の流れ

##### 流れの説明

1. 加盟店様は、参照する取引のオーダーIDを指定し当サービスの**【取引状態参照】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の内容を取得して返します。
3. 加盟店様は、取引の結果を確認します。

##### ※ご注意点

入金結果、期限切れデータは結果通知プログラムURLにて取得してください。取引参照で対応される場合は、短くても60分は間隔を空けていただき、決済実行まで実施された取引に対してのみ要求処理を行ってください。

## 3.1.2. 各インタフェース仕様詳細

## 3.1.2.1. 取引状態参照

## 接続先URL

/payment/SearchTradeMulti.idPass

## インタフェース概要

指定したオーダーIDの取引情報を取得します。

## 入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	PayType	◎	CHAR	2	決済方法	14 : JCBプリカ

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

## 出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	
4	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	
6	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	
8	CardNo	-	CHAR	32	カード番号	
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	14 : JCBプリカ
13	JcbPrecaSalesCode	-	CHAR	20	伝票番号	JCBプリカセンターに登録する取引を識別する番号
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)